

LIFE のカリキュラムデザイン

<b>学 年</b>	高等学校1年	<b>時間数</b>	70 時間
<b>テーマ</b>	<b>人間と人間の文化について学ぶ</b> - 人間の文化や人間についての科学的な理解をめざして -		
<b>キーワード</b>	科学と芸術 文化理解 人間理解 探究と考察 表現		
<b>概 要</b>	人間と人間がつくり出した文化を正しく理解するためには、その人の価値観に立って理解することが大切になる。L I F E では、自然科学・芸術などの文化事象を取り上げ、それらが生み出された社会の歴史的特質や地域的特質を明らかにしながら探究していく。その際、実験の再現やコンピュータでのシュミレーション、表現や鑑賞体験学習などの活動を行うことで、生徒の興味・関心を高めながら文化理解の方法を身につけていくことができるようにする。		

1. 学習の目標・ねらい

グローバル化が進む現代社会においては、それぞれの文化の違いを理解し、尊重することが求められており、異文化理解、国際理解の必要性がいわれている。人間や人間がつくり出した文化を正しく理解するには、その文化の価値体系にもとづいて理解しなくてはならない。つまり、自分の価値観ではなく、相手の価値観に立ってその文化を理解できる能力を身につけなければならないのである。そのためには、文化を創り出した時代の特質や人々の価値観を理解し、人間の営みに共感できることが大切である。

そこで、高校1年生で実施する「L I F E 人間と人間の文化について学ぶ」では人間の創り出した文化の中から自然科学や芸術分野などの文化事象を取り上げ、「このような文化事象は、なぜ、どのようにして生み出されてきたのか」という視点で、それらが生み出された社会の歴史的特質や地域的特質をもとに、人々のものの見方や考え方とのかかわりの中で探究していく活動を設定する。

そのような学習活動を通して、文化に対する理解の方法（文化理解の枠組み）を身につけるとともに、様々な文化に対する理解を一層深めることができる考える。また、様々な文化事象に出会ったときに、ここでの学び方を生かし、その文化が生み出された社会の価値観で理解しようとしたり、その社会に生きる人々の営みに共感したりできると考える。このことは、生徒が人間のありかたや自分の生きかたについて考えながら主体的に生きていくことにつながると考える。

### 第3章 LIFE のカリキュラムの実際

#### 2. 育まれる能力

- (1) 様々な文化に興味・関心をもち、それらを探究する活動に主体的・意欲的に取り組む能力
- (2) それぞれの文化が生み出された社会の価値観をもとに、人間や文化への理解を深める能力
- (3) それぞれの社会で生み出された文化を大切にしようとする態度

#### 3. 評価の観点

- (1) 様々な文化事象やその背景を探ることに興味・関心をもち、実験・分析、調べ学習表現や鑑賞、創作の活動などに意欲的・創造的に取り組むことができたか。
- (2) 文化が生み出された社会の価値観に基づいて理解するという、文化理解の枠組みが身についたか。
- (3) 人間の生み出した多様な文化の理解を通して、人間のありかたや生きかたについての考えを深めることができたか。

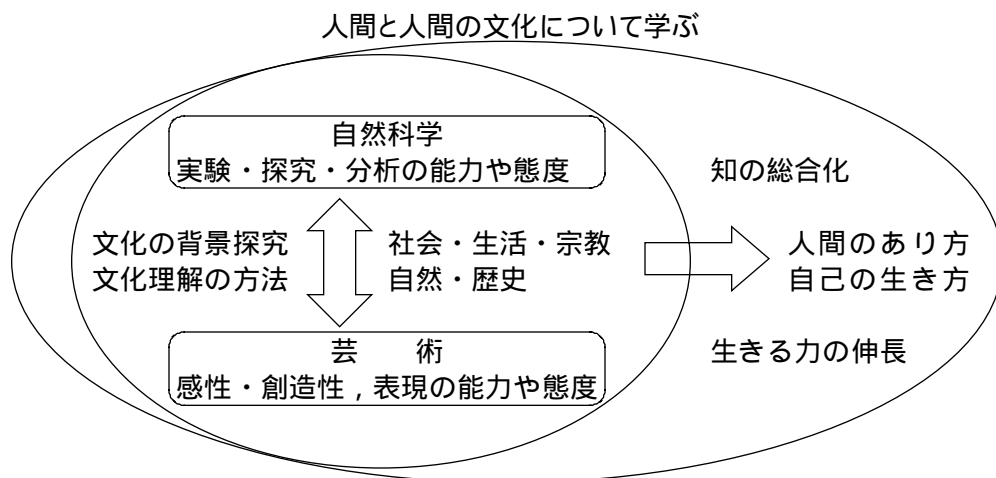
#### 4. 評価の方法

- (1) 探究活動の様子の評価
- (2) 学習力 - ド・ワ - クシート、生徒の活動の記録を活用した評価
- (3) 探究内容をまとめたレポートや作品、グループ研究の発表による評価

#### L I F E 単元の構成

[テ - マ 1 自然科学分野] 科学的にものごとをとらえるという近代的なものの見方・考え方について、実験・分析、調べ学習などの活動を通して探究していく。

[テ - マ 2 芸術分野] 東洋と西洋の文化を比較しながら、その背景にある人々の生活、歴史的・地理的な特質から生じるものの見方・考え方について、表現や鑑賞、創作の活動などを通して探究していく。



### 第3章 LIFE のカリキュラムの実際

#### 6. 年間指導計画 (70時間扱い)

単元名	学習のテーマ・ねらい	学習の具体的な内容
ガイダンス	年間の学習の概要提示	「人間と人間の文化」についての学習内容を知る。
テーマ1		
「ガリレオになろう」	<p>落体の運動を調べる。</p> <p>測定する対象を考える。</p> <p>実験・分析</p> <p>歴史研究</p> <p>プレゼンテーションの作成</p> <p>プレゼンテーション練習</p> <p>研究発表</p>	<p>自然落下運動をストロボ撮影した画像を分析させ、落体の運動を考えさせる。測定器具を限定し、どのような測定方法があるか考えさせること通してガリレイの実験上の工夫にふれる。</p> <p>グル - プごとに「速さ」を測定する対象を考える。測定の留意点を明確にし、測定の方針、実験・調査の方法を検討する。</p> <p>実験データから帰納的に予測し、数式化できるものがあれば試みる。実験の方法、経緯、実験・分析結果からわかったことについてレポートを作成する。</p> <p>実験したことが、歴史的にはどのように考えられてきたか調べる。(図書やインタ - ネット等) 調べたことをもとにレポートを作成する。</p> <p>作成したレポートをもとにプレゼンテーションを作成する。</p> <p>完成した作品をもとに、プレゼンテーションの練習を行い、時間内に的確に表現できるようにする。</p> <p>グル - プごとにプレゼンテーションソフトを利用して成果の発表を行う。</p>

テーマ2 - 1		
日本と西洋の音楽文化を比較する	いろいろな楽譜	五線を使わずに「ふるさと」を聞いて楽譜をつくる。
	指揮者の存在	西洋の楽譜と日本伝統音楽の楽譜について比較し、その違いやそこに見られる考え方の違いについて考える。 指揮者のある、なしで音楽がどう変わるか、手拍子合わせなどを行ったり、オ - ケストラ演奏を鑑賞して指揮者の役割について考えたりする。
	西洋と東洋の合奏形態	「オ - ケストラ」と「雅楽」「オペラと歌舞伎」を比較し、指揮者がいない日本伝統音楽ではどのように合わせているのか考える。
	日本の伝統音楽への チャレンジ	雅楽の歴史、楽器の役割、楽譜の見方、伝承の方法の理解。
	雅楽	実演とその音楽から日本文化について考える。
	尺八	尺八曲の鑑賞、尺八作りと演奏。多彩な音色や間など特徴と日本文化との関係を考察する。
	箏	箏曲の鑑賞、簡単な箏曲の演奏。多様な奏法と日本文化との関係を考察する。
	まとめ	活動の感想や気づき、わかったことなどを発表する。
	いろいろな声	世界中のいろいろな発声や歌声とその背景にある考え方について知る。(地声の合唱、民謡裏声、ケチャ、ホ - ミ - 等)
	学習のまとめ	ケチャとホ - ミ - に挑戦。 本単元の学習での自分の考えの深まりについてまとめる。

テーマ2-2		
<p>視覚の世界を探究しよう</p>	<p>- 中世と近代，西洋と東洋，それぞれのものの見方とらえ方 -                      作品の鑑賞と考察                      (課題の発見)</p> <p>表現手法の演習(体験活動)</p> <p>作品の背景を探究                      (探究活動)</p> <p>比較と考察                      (考察とまとめ)</p>	<p>西洋の科学的合理主義の始まりであるレオナルド・ダ・ヴィンチ「最後の晚餐」, ラファエル「アテネの学童」, 日本の中世・近世の作品「源氏物語絵巻」, 北斎「富岳三十六景」, 20世紀のピカソの作品「ゲルニカ」「卓上の静物」を鑑賞しその作品の背景についてのポイントを整理する。</p> <p>レオナルドのパースペクティブ, 日本の俯瞰図, ピカソのキュービズムの手法を応用して描くことによって, その概念を理解し, その時代のものの見方やとらえ方についての理解を深める。</p> <p>作家の生涯や業績, その時代・地域・民族・文化の背景について調べる。</p> <p>関連する文献やスケッチ・絵画などを調べ, その時代の人々のものの考え方, 生き方, 世界観などについて考察する。</p> <p>「東洋と西洋」, 「レオナルドとピカソ」, 「中世と近現代」, 「パースペクティブとキュービズム」など, 様々な切り口から考察を試みる。</p> <p>探究・考察したことをレポートにまとめる。</p>
テーマ2-3		
<p>文字の歴史を考える</p>	<p>- 西洋と東洋の文字の違いから, その文化的な差を探る -                      書いてみよう・刻んでみよう                      - 楔形文字・ヒエログリフ・甲</p>	<p>三種類の葦のペン(割り箸)で年度板に楔形文字を刻む。</p>

	<p>骨文字 -</p> <p>書字方向について - 縦書きと横書きの違い -</p> <p>手書き文字の歴史 - 西洋では・東洋では？ -</p> <p>日本における文字使用の歴史</p> <p>表意文字から表音文字へ</p> <p>印刷の歴史 - 西洋と東洋で印刷はどう扱われたか -</p> <p>西洋・中国・日本における文字文化</p>	<p>ヒエログリフや甲骨文字で自分の名前を書いてみる。</p> <p>現在のアルファベットと同じ書き方の楔形文字，4通りの書き方があるヒエログリフ，2通りの縦書の方法がある甲骨文字は，それぞれどう生まれ，それぞれの文字にどのような影響を与えたのか探る。</p> <p>手書き文字の歴史をたどりながら，3つの文字を書くようになった理由を探る。</p> <p>実際にどのように書かれたかを映画「薔薇の名前」で確認。・実際使用されたようなペンでゴシック体等の書体を書く。</p> <p>毛筆との違いを確認する。</p> <p>文字のなかった日本で，漢字を取り入れて日本語を表現していく過程を考える。</p> <p>始めは絵文字，つまり表意文字だったのが，ほとんどの国で表音文字を使っている理由について，日本で漢字を取り入れた経緯を参考に考える。</p> <p>中国で生まれた金属活字による印刷とグ・テンベルグの活版印刷を比べ，その後の普及の仕方などから文化の違いを探る。</p> <p>漢字を散り入れて現在の仮名をつくっていく過程，特に濁音や半濁音の扱いを中心に調べる。</p>
<p>L I F E のまとめ</p>	<p>年間の活動をふりかえったまとめ</p>	<p>「人間と人間の文化について学ぶ」の学習を通して，自分の見方考え方が深まったことや感じたことなどをレポ・トにまとめる。</p>